

究極のがんマネジメント: Supportive Care ～QOL改善と治療効果向上を目指して～

日時: 2014年7月12日(土) 13日(日)

場所: 和歌山県立医科大学高度医療人育成センター5階
大研修室・中研修室
〒641-8509 和歌山県和歌山市紀三井寺811-1

プログラム(予定)

7月12日: 14:30開始予定 21:30終了予定

Session1 (Educational Solution Seminar)

1: Keynote Address (講演とディスカッション)

“何故がん薬物療法における支持療法が必要か～効果とQOL～(仮題)”

2: Interactive Discussion (講演と課題検討)

テーマ: 1)好中球減少、2)倦怠感・疼痛 3)悪心・嘔吐、4)下痢、5)皮疹、6)手足症候群

3: 総合ディスカッション

7月13日: 8:00開始予定 12:00終了予定

Session 2

1: 参加型症例検討

2: 意見交換および総括

3: クロージング・リマークス

「症例」は参加者から募ります。締め切り: 6月20日(金)

発表症例に選ばれた方の参加費は無料とさせていただきます。検討症例の抄録をお送りください。

症例の抄録: ①タイトル、②氏名、③所属、④本文(本文のみで400字以内)ワードファイルにて送付ください。

送付先と方法: 運営事務局(secretariat@jhope.jp)まで、メールにて送付ください。

ファシリテーター(50音順)

今村 知世 (慶應義塾大学医学部臨床薬理学講師)
上野 直人 (MD アンダーソンがんセンター乳腺腫瘍内科教授)
坪井 正博 (国立がん研究センター東病院呼吸器外科科長)
朴 成和 (聖マリアンナ医科大学腫瘍内科教授)
山本 信之 (和歌山県立医科大学内科学第三講座教授)

ディスカッサント(50音順)

東 光久 (天理よろづ相談所病院総合診療教育部)
上田 弘樹 (和歌山県立医科大学付属病院腫瘍センター)
釧持 広知 (静岡県立静岡がんセンター呼吸器内科)
谷野 裕一 (北里大学医学部外科)

募集要項

- 対 象:** 全国のがん医療に携わる医師、薬剤師、看護師 60 - 80名
※施設単位(医師、薬剤師、看護師のチーム)でのお申し込みも可能です。
- 参 加 費:** お一人5,000円(但し、交通・宿泊費用は参加者のご負担となります。ご了承ください。)
- 申し込み受付:** 2014年5月15日(木)～6月27日(金)
お申し込みにあたりましては、下記の内容を記載のうえ、メールにて下記事務局に送付ください。
(1)氏名、(2)施設名とご所属、(3)emailアドレス、(4)緊急連絡先
- 申 込 受 付:** 一般社団法人事務局 secretariat@oncology-education.or.jp
- 締 め 切 り:** 2014年6月27日(金)
※先着順。定員80名に達したところで受付を終了とさせていただきますこと、ご了承ください。

主 催: 一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト
共 催: Educational Solution Seminar
アストラゼネカ株式会社、小野薬品工業株式会社、第一三共株式会社、中外製薬株式会社、ファイザー株式会社
後 援: 日本臨床腫瘍学会、マルホ株式会社
協 力: Japan TeamOncology Program (J-TOP)、Academy of Cancer Experts(ACE)